

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

技術等級制度規程

(目 的)

第 1 条 技術等級制度は、つぎの目的をもって行うものとする。

- (1) ソフトテニスを愛好する者に自己の実力を確かめ、更に技術を向上するための目標を与える。
- (2) ソフトテニスの指導体系を確立する。
- (3) 公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下「日本連盟」という）及び各加盟団体（以下支部という）の健全な財政を確立する。

(等級区分)

第 2 条 等級区分を次のとおりとする。

(1) 技術等級

M a s t e r (M a)

E x p e r t (E x)

S e n i o r E x p e r t (S - E x)

S p e c i a l i s t (S p)

S e n i o r S p e c i a l i s t (S - S p)

1 級

2 級

3 級

4 級

SeniorExpert (S-Ex)・Senior-Specialist (S-Sp) は、各種大会における年齢種別が 50 歳以上の部に適用される。

Master (Ma) は、Expert (Ex)・SeniorExpert (S-Ex) あるいは Specialist (Sp)・Senior Specialist (S-Sp) 保持者の中で、特にソフトテニス界に功労のあった 45 歳以上の者とし、支部からの推薦に基づき、日本連盟が認定する。

(2) 指導資格

指導資格を次のとおりとする。

名誉指導員

(受検資格)

第 3 条 次条に規定する技術等級及び指導資格の認定を受けようとする者は、日本連盟に会員登録した者でなければならない。

(認定方法)

第 4 条 技術等級の認定は、次の各号に掲げる方法により別表第 1（技術等級検定基準）又は別表第 2（大会実績に基づく認定基準）に従い、支部からの推薦に基づき日本連盟が認定する。なお、大会実績による申請は、当該大会終了後 1 年以内とする。

- (1) Expert、Senior-Expert 及び Specialist、Senior-Specialist は大会実績のみにより認定する。
- (2) 1 級～4 級までは検定会又は大会実績により認定する。
- (3) 名誉指導員は、ソフトテニス界に功労のあった 45 歳以上の者とし、支部からの推薦に基づき日本連盟が認定する。

(検 定 会)

第 5 条 技術等級の検定会は、各支部において、随時開催する。

2 検定会は、別表第 1 に定める検定基準に基づき、検定員が実施する。この場合において、検定員は補助員を依頼することができる。

(認定手続)

第 6 条 日本連盟及び各支部は、第 5 条の規定に基づき技術等級あるいは名誉指導員資格を認定したときは、速やかに技術等級認定登録者名簿に登録するとともに、認定者に対し「認定証」及び「認定バッジ」等を交付する。

(検 定 員)

第 7 条 検定員は、日本連盟「技術等級検定員規程」に該当する者になることができる。

(変 更 届)

第 8 条 認定を受けた技術等級又は指導資格に係る登録事項に変更が生じた場合は、速やかに「登録事項変更届」を所属支部に提出しなければならない。

(附 則)

1. この規程は、昭和 49 年 4 月 1 日より施行する。
2. この規程は、昭和 50 年 4 月 1 日より改訂する。
3. この規程は、昭和 51 年 5 月 1 日より改訂する。
4. この規程は、昭和 52 年 5 月 1 日より改訂する。
5. この規程は、昭和 53 年 6 月 1 日より改訂する。
6. この規程は、昭和 54 年 1 月 1 日より改訂する。
7. この規程は、平成 6 年 6 月 4 日より改訂する。

8. この規程は、平成 8 年 4 月 1 日より改訂する。
9. この規程は、平成 10 年 4 月 1 日より改訂する。
10. この規程は、平成 21 年 4 月 1 日より改訂する。
11. この規程は、日本ソフトテニス連盟が公益財団法人としての設立の登記の日(平成24年4月1日)より施行する。
12. この規程は、平成 25 年 4 月 1 日より改訂する。
13. この規程は、平成 29 年 4 月 1 日より改訂する。
14. この規程は、平成 31 年 4 月 1 日より改訂する。
15. この規程は、令和 元年 6 月 1 日より改訂する。
16. この規程は、令和 2 年 2 月 26 日より改訂する。
17. この規程は、令和 3 年 4 月 1 日より改訂する。
18. この規程は、令和 4 年 4 月 1 日より改訂する。

(別表第1)
技術等級検定基準

- a 技術等級の検定会による検定種目および得点を、次のとおりとする。
b 検定は1～2級と3～4級に区別して行う。

／等級	1 級		得点	2 級		得点	3 級		得点	4 級		得点
検定種目／	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	
A シュート	○		10	○		10	○		10	○		10
B ロビング		○	10		○	10		○	10			
C ト ッ プ		○	10		○	10						
D レシーブ	○		10	○		10	○		10	○		10
E ボ レ ー		○	10		○	10		○	10			
F スマッシュ		○	10		○	10						
G サービス	○		10	○		10	○		10	○		10
H検定員主観	○		20	○		20	○		10	○		10
得 点 合 計	50	20	70	50	20	70	40	10	50	40		40
合 計 基準点			50			40			30			20

(別表第2)

大会実績に基づく認定基準

種別	大会名	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
一般男女	全日本選手権大会	32	※大会の権威：参加資格を Sp 以上とする				
	全日本社会人選手権大会	16	32				
	全日本ミックス選手権大会	16	32				
	全日本シングルス選手権大会	16	32				
	東・西日本選手権大会	8	16	32			
	各ブロック選手権大会	4	8	16			
	各ブロックシングルス選手権大会	4	8	16			
	各支部選手権大会		4	8	32		出場
	各支部シングルス選手権大会		4	8	32		出場
35	全日本社会人選手権大会	8	16	32			
	全日本ミックス選手権大会	8	16	32			
	東・西日本選手権大会	4	8	16	32		
	各ブロック選手権大会		4	8	16		
	各支部選手権大会			4	16	32	出場
45	全日本社会人選手権大会	4	8	16	32		
	全日本ミックス選手権大会	4	8	16	32		
	東・西日本選手権大会	2	4	8	16		
	各ブロック選手権大会		2	4	8	16	
	各支部選手権大会			2	8	16	出場

種別	大会名	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
大学	全日本学生選手権大会	8	16	32	64		
	全日本学生シングルス選手権大会	8	16	32	64		
	東・西日本学生選手権大会	4	8	16	64		
	東・西日本学生シングルス選手権大会	4	8	16	64		
	各ブロック学生選手権大会	2	8	16	64		出場
	各ブロック学生シングルス選手権大会	2	8	16	64		出場
高校	全日本高校選手権大会	4	16	32			
	ハイスクールジャパンカップ (ダブルス)	4	16	32			
	ハイスクールジャパンカップ (シングルス)	4	16	32			
	各ブロック高校選手権大会		8	16			
	各支部高校選手権大会		2	4	32	64	出場
	各支部高校シングルス選手権大会		2	4	32	64	出場
	各支部高校選手権大会地区予選				8	32	出場
	各支部高校新人戦大会				16	32	出場
	各支部高校新人戦大会地区予選				4	16	出場
中学	全国中学校大会		4	8	16	32	
	都道府県対抗全日本中学生大会 (ダブルス)		4	8	16	32	
	都道府県対抗全日本中学生大会 (シングルス)		4	8	16	32	
	各ブロック中学校選手権大会		2	4	8	16	
	各支部中学校選手権大会			2	4	8	出場
	各支部中学校シングルス選手権大会			2	4	8	出場
	各支部中学校選手権大会 (地区予選)					4	出場
	各支部中学校新人戦大会				2	4	出場
	各支部中学校新人戦大会 (地区予選)					2	出場
小学	全日本小学生選手権大会			2	8	16	
	全国小学生大会 (5年生の部)				4	8	
	全国小学生大会 (4年生以下の部)				2	8	
	全国小学生大会 (6年生の部) シングルス			2	8	16	
	各ブロック小学生選手権大会				4	8	
	各支部小学生選手権大会				2	4	出場
	各支部小学生シングルス選手権大会				2	4	出場
	各支部小学生選手権大会 (地区予選)					2	出場
JOC 杯	U-20 ダブルス大会	2	4				
	U-17 ダブルス大会	2	4				
	U-14 ダブルス大会		2	4			
	U-20 シングルス大会	2	4				
	U-17 シングルス大会	2	4				
	U-14 シングルス大会		2	4			
ジュニア ジャパン カップ	U-20 ダブルス大会	2	4				
	U-17 ダブルス大会	2	4				
	U-14 ダブルス大会		2	4			
	U-20 シングルス大会	2	4				
	U-17 シングルス大会	2	4				
	U-14 シングルス大会		2	4			

■ シニア関係

種別	大会名	S-Ex	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
シニア	全日本シニア選手権大会	4	8	16	32		
	全日本ミックス選手権大会	4	8	16	32		
	東・西日本シニア選手権大会	2	4	8	16		
	各ブロック・シニア選手権大会		2	4	8	16	
	各支部シニア選手権大会			2	8	16	出場

※各支部を各都道府県と読み替える。

(注) 出場数が15ペア(名)以内の大会には、4級を除き適用しない。4級は出場数に係わらず認定できる。

1. 上記の認定基準は、各大会の出場数が最大認定数(1番右側の数字)の2倍以上の場合のみ適用される。
2. 出場数が最大認定数(1番右側の数字)の等倍以上で2倍に満たない場合は、全ての認定数を1/2とする。
3. 出場数が最大認定数(1番右側の数字)の1/2に満たない場合は、全ての認定数を1/4とする。
4. 各支部における選手権と同等レベルの大会は、選手権大会の認定基準により認定できる。

(一般男女での例)

一般男女	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
各支部選手権大会	—	ベスト4	ベスト8	ベスト32	—	出場
各支部シングルス選手権大会	—	ベスト4	ベスト8	ベスト32	—	出場

① 参加ペア(選手)数 64以上

一般男女	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
各支部選手権大会	—	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32	出場
各支部シングルス選手権大会	—	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32	出場

② 参加ペア(選手)数 32～63 (1/2)

一般男女	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
各支部選手権大会	—	2 位	ベスト4	ベスト8	ベスト16	出場
各支部シングルス選手権大会	—	2 位	ベスト4	ベスト8	ベスト16	出場

③ 参加ペア(選手)数 16～31 (1/4)

一般男女	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
各支部選手権大会	—	優勝	2 位	ベスト4	ベスト8	出場
各支部シングルス選手権大会	—	優勝	2 位	ベスト4	ベスト8	出場

④ 参加ペア(選手)数 15以下

一般男女	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
各支部選手権大会	—	—	—	—	—	出場
各支部シングルス選手権大会	—	—	—	—	—	出場

(特記)： 都道府県が指定した全日本選手権大会予選会(兼ねる大会を含む)においてのみ、参加数に関わらず各枠内の権利を得た選手にSp認定が適用される。ただし、当該大会にSp以上の資格をもった選手が出場枠数以上参加していること。